

秋来ぬと…

名古屋市立玉川小学校長

藤原敏之が、立秋の日に詠んだ短歌「秋来ぬと目にはさやかに見えねども 風の音にぞ驚かれぬる」立秋はとうに過ぎ、あと少しで1か月がたとうとしていますが、風の音どころか、秋らしさを感じられないまま、新学期を迎えようとしています。残暑お見舞い申し上げます。暑さはまだまだ続きそうですが、お体をおいとくださいますように。

夏休み中、猛暑の中、8月2日、3日に5年生が中津川野外学習に出かけました。雨に降られることはありませんでしたが、猛暑の中での野外活動は厳しいものでした。しかし、子どもたちは、各々の役割を果たし、飯ごう炊さん、キャンプファイヤーなど十分に楽しんでいました。協力のすばらしさを体感し、みんなで楽しんだ経験を2学期以降の学校生活にも生かしてもらえたらと思います。

2学期は、「たまがわフェスティバル」、「展覧会」と大きな行事があり、校外学習も各学年で計画しています。多くの子どもたちがそれらを楽しみにしていると思います。充実した活動となるよう十分な準備をするとともに、安全に留意して活動を進めてまいります。ご協力をよろしくお願いいたします。

夏休み中は、第9波到来と言われる中でも、お盆やお祭りで人流がととも盛んでした。新型コロナウイルス感染症への備えも必要です。

「かからない」、「うつさない」ためにも、手洗いの励行をし、十分な睡眠と栄養の確保による免疫力の維持を図っていく必要があると感じます。ご家庭でも、子どもたちにお話しただけると幸いです。



中津川野外学習

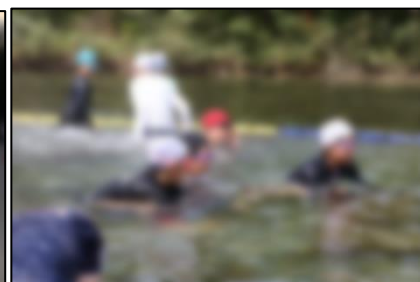
8月2日(水)、3日(木)は、1泊2日で、5年生が中津川野外学習に出かけました。天候に恵まれ、暑い中ではありましたが、火起こし体験や飯ごう炊さん、キャンプファイヤー、川遊びなど、予定通りの活動を行うことができました。仲間とともに生活する中で、代表で挨拶をする役割や、食事や飯ごう炊さんでの係など、様々な活動を通して自分の責任を果たすことの大切さを学ぶことができました。子どもたちからは、「暑かったけれど、みんなと過ごせて楽しかった」「飯ごうの仕方など貴重な経験ができた」などと、感想を聞くことができました。



火起こし体験



キャンプファイヤーの様子



川遊び